

受動喫煙の害

タバコを吸う本人よりも健康への影響が！！

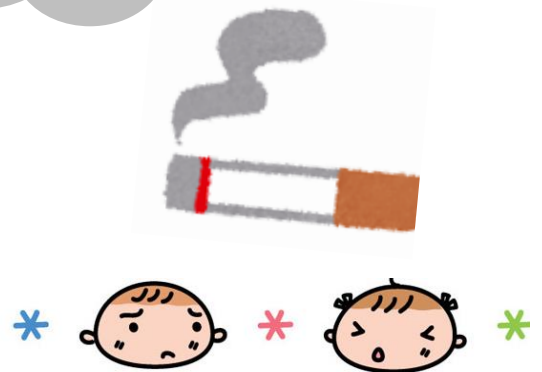
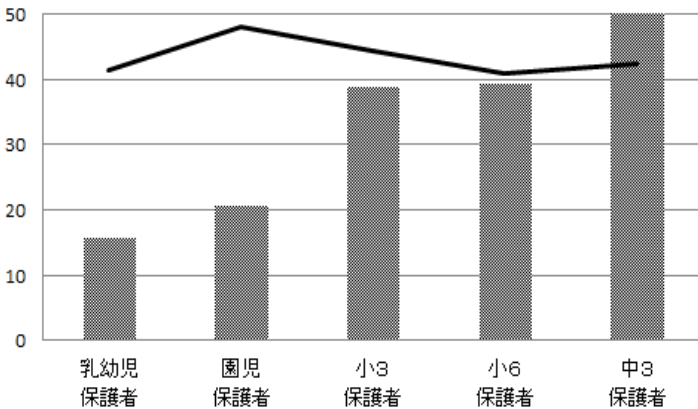
換気の悪い部屋で喫煙すると、室内の空気がタバコの煙で汚染され、周囲の人のがん、心臓病等のリスクが増大するなど受動喫煙によってタバコを吸わない人の健康まで脅かされます。とくに、感受性の高い新生児、幼児、学童、老人、呼吸器疾患の人に対する影響は気をつけなければいけません。

(タバコの煙に含まれる成分の一例)

ニコチン → ゴキブリ殺虫剤の成分 → 主流煙の2.8倍
 ニトロソアミン → 発がん物質 → 主流煙の52倍
 アンモニア → ツンとする臭い → 主流煙の46倍



喫煙者がいる家庭の割合と受動喫煙者への配慮



— 喫煙者がいる家庭の割合 ■ そのうち、子どものいるところでタバコを吸っている割合 [安城市健康に関する基礎調査 H24 より]

吐いた息(呼気)から！！

喫煙者の呼気の中には、タバコを吸っていない時でも、一酸化炭素をはじめとするたばこ由来の有害物質が含まれています。最後の一本を吸ってから8時間以内は、呼気からたばこの有害物質が排出されているといわれています。

髪や衣服、ホコリから！！

タバコを吸った後でも髪や衣服にたばこの有害物質が付着しているため、たとえ屋外(ベランダなど)で、吸っていても受動喫煙は避けられません。

吸わない人をタバコの害(煙)から守りましょう



<参考 厚生労働省 HP 受動喫煙対策>



問い合わせ先 安城市保健センター 76-1133

からだいきこころのびのび
 第2次
 健康日本21安城計画